# 幸若かわら版

幸若舞の里づくり会
事務局　橋本守行
電話090-7746-8689

第　４２号
令和　５年　５月　１日

## 幸若舞ペナントを更新

西田中本通りの街灯支柱に添架されていた幸若舞ＰＲのペナントが十数年を経て、損傷老朽化が著しく、またそのデザインも陳腐化して、その更新の検討を行ってきました。

その結果、西田中区の補助金を得て、今般三月一五日、新しいデザインのペナント六〇組を西田中本通りの竹内スタンドから内郡・高島屋の約一・二キロの区間と駅前通りに再設置しました。またこれまでの西田中区の管理から当会に移管されました。

## 令和5年度総会開催　ご案内

令和５年度の総会を下記要領により開催します。万障繰り合わせのうえご出席をお願いいたします。

日　時　令和５年５月７日（日）　午前１０時～
会　場　越前町生涯学習センター
議　題　令和４年度事業報告・決算
　　令和５年度事業計画・予算
　　役員改選その他

・当日新しい幸若紙芝居を披露します。
・当日令和５年度の会費２千円の納入をお願いします。

## 本会後援

# 堀大介教授講演会開催

さる３月４日、元越前町学芸員で現在佛教大学教授の堀大介氏による「古代越前における宗教史研究の新視点」と題する講演会が、町生涯学習センターで行われました。（本会後援）

白山と越知山を結ぶ線状に、朝宮大社・大谷寺・明寺などが分布すること。白山と敦賀気比神宮・若狭神宮寺が一直線上にあること。

これらのことから、古代における宗教拠点が白山や方位を意識して、展開されたのではないかというのが堀大介氏の仮説である。

越前における広域的な宗教空間の形成

## 第11回あすわ左内まつりで幸若舞

本年も福井市のあすわ左内まつりに招かれ、部員５人で橋本左内を讃える「左内」を上演しました。

またリーフレットを配布し、ＰＲに努めました。

顕彰へ「まつり」
吟舞や歴史講座

第11回あすわ左内まつりが9日、福井市左内町の左内公園で開かれた＝写真。幕末の福井藩士橋本左内を顕彰する吟舞や歴史講座、児童生徒の演奏など多彩な催しでにぎわった。

足羽まちづくり推進委員会などが主催。ステージでは、左内の生涯を題材にした吟舞や二胡、太鼓演奏のほか、地元生徒が吹奏楽や合唱を披露した。

公民館の放課後こども教室で腕を磨く子どもたちがお点前を披露した茶席もあり、そばやぜんざいの販売、子ども向けの縁日コーナーなど、地域住民が交流を楽しんだ。地元中学生がボランティアとして、まつり運営にも関わった。（児島崇之）

福井新聞４月１２日記事

## 町内文化財ウオーキングツアー

去る四月一日、朝日コミセン主催による文化財ウオーキングツアーが開催されました。二三名が参加して、町内各地の文化財を訪れましたが、幸若舞関係では、社会福祉センター（幸若一族屋敷跡）入り口に建立された「幸若舞発祥の地記念碑」の前で、説明を行いました。

# 戦国大名朝倉氏の十七献の宴と幸若舞

## 3月24日幸若歴史愛好会開催

朝倉館跡

さる三月二四日、町図書館において、会員一一名の参加を得て、幸若歴史愛好会が開催され、青木講師の講義を受けました。

戦国時代の離合集散のなかで、義景を頼って一乗谷を足利義昭が訪れた。永禄一一年、義景は、義昭歓迎の盛大な一七献の宴を一乗谷ではったが、その献立内容とその折りに舞われたとされる「幸若舞」についてである。

永禄一一年は朝倉治世のピークにあり、義昭従弟の義栄が将軍に就任した年である。しかし、義昭が期待した上洛の動きを義景は見せず、信長の誘いに乗って入京を果たし将軍となる。五年後に義景は信長に攻められ、自害滅亡する。軍事力のみならず、政治工作も重視した戦国大名の生き残り戦略を背景とした出来事である。

義昭から太刀・鎧・馬などの進物があり、宴が始まった。

初献から三献までは、数の子、いか、くらげ、からすみなどが膳にのぼった、休息をはさみ、四献から十献では、鰹、鯛、赤貝、あゆ、たけのこなどが供せられた。さらに休息の後、十一献から十七献では、ほしたら、かまぼこ、ゑひなどが膳に出された。

膳の間には、高砂などの十四曲の能舞などが行われた。義景はじめ朝倉家臣団も「手猿楽」を舞い、さらに最後に、義昭の所望に応じ、義景が「幸若舞」を舞ったとされる。

四月二八日には、「朝倉氏と茶の湯」と題して、朝倉氏が茶の湯を重んじた事の講義がありました。次回五月は、泰澄大師の実在・不在をめぐっての討論です。

# 新しい紙芝居を巡回展示

これまで、新しい紙芝居について、昨年から福井信用金庫朝日町支店、福井銀行朝日町支店のロビーで街角美術館として、さらに３月には朝日コミセンのギャラリー、４月には泰澄の杜で展示を行い、好評を博しました。

（4／16）

（5／16）

（6／16）

# ３年ぶり顧問会議開催

新型コロナ流行により、中断されていた本会の顧問会議が四月一四日一〇時から、町青少年ホーム会議室で開催されました。顧問としては、中嶋、打波、村上の三氏、会執行部として、副会長の児玉はじめ、橋本、松田、岡本の四人が参加しました。

出されたご意見などは次の通りです。

＊福岡県みやま市大頭流幸若舞の視察交流は、、現存唯一の幸若舞であり、パイプを維持するためにも、継続すべきである。

＊しかし、大きな経費が掛かることから、二～三年おきにするとか、参加者数を絞ったらどうか。

＊町からの補助金も厳しい状況にあり、町事業者等からの協賛金や公益財団などから助成金をもっと積極的に活用すべきである。

＊本年度はじめてみやま市児童との交流事業に「幸若舞」がとりあげられたが、今後も継続すべきである。

＊品切れ絶版となった「幸若舞を知る百項」の改訂出版が、懸案となっているが、編集内容について町学芸員の協力を求めるとともに、出版費用については、公益財団の助成制度を活用する方法もある。

＊幸若舞の認知度を上げるために、商工会などと連携した「幸若まつり」を企画したらどうか。幸若もなか、幸若そば……

＊来春の新幹線開通を契機としたイベントが県内各地で計画されているが、これとリンクしたイベントはどうだろう。

＊令和七年は、越前町合併二〇周年にあたり、記念のイベントなどが実施されるだろう。この冠をつけた幸若イベントを企画提案すべきである。

＊文化財としての困難性はあるが、幸若佐々生墓地の活用整備を図るべきである。

＊もっとメディアを活用し、種々の催事などをＰＲすべきである。

## 今年も佐々生墓地清掃

今年も、４月１６日（日）午前中、会員有志６名により、佐々生墓地清掃を行いました。

明治２９年西田中に移転した龍生寺の跡地で、平成３年旧朝日町の指定文化財となり、平成１５年に悉皆調査が行われた。

## 当面の主な予定

５月　７日（日）　令和５年度総会　（１面参照）
５月２６日（金）　幸若歴史愛好会
５月２８日（日）　西田中区健康ウオーク協力参加
６月２５日（日）　越前町芸能祭幸若舞上演
　　カメリアホール　午後1時～